

新病院整備事業市民説明会のご意見・質問概要

令和6年7月22日(月)午後7時開催

会場：宍粟防災センター

※ホームページの公表に際し当日の発言のままではなく表現や内容を整理・精査しています。また、当日お答えできなかった内容及び訂正箇所については、下線部にて記載しています。

◆建物の構造に関すること

No. 1 【耐震構造について】

質問	山崎では、震度6の地震が想定されるなかで、防災拠点の病院として、費用面よりも安全面で本当に大丈夫なのかと心配している。その点についての説明を聞きたい。
回答	どのような地震が来るのか全く分からない状況のなか、直近の能登半島地震を例に挙げますと、能登には4つの災害拠点病院がありますが、全て耐震構造です。また、現場の状況としては、医療機器の調整等に少し時間を要しましたが、順次、診療行為を再開し、医療が継続されていたと聞いています。様々な地震がある中で建築基準法の改正が行われてきており、新病院では、「災害時に拠点として機能すべき病院」と位置づけ、建築基準法上の基準と比べて1.5倍の強い建物になるため、耐震構造でも法的に十分地震に耐えうる安全な構造となっています。

◆水害対策に関すること

No. 1 【盛土計画(地盤の嵩上げ)について】

質問	ハザードマップで水没の恐れがあるということで、嵩上げ等をされたと聞いたが、どのように計画されたのか。
回答	ハザードマップは、1000年分の1の確率でおこる最大規模の降雨を想定しており、浸水の想定範囲を地域の皆さんに事前にお知らせし、避難等に役立てていただくために配布しているものです。また、県などが河川整備等を行う際には、「計画規模」の浸水想定を対象にしており、これは100年確率と呼ばれるものです。 新病院建設地をこの100年確率規模でみますと、0.5mから3m程度の浸水が想定されていますので、対策として、3mの嵩上げを計画しています。 <u>補足説明</u> <u>3mの嵩上げをする中で、万が一、1000年分の1の確率でおこる浸水があった場合においても、入院患者さんがおられる3階以上は浸水を避けられるように計画しています。</u>

◆収支計画に関すること

No. 1 【収支計画について】

質問	事業費が156億円から198億円になり、収支計画は大丈夫と説明されたが、収支計画の設定条件が基本計画策定時のもの(1日の平均外来患者数が400人、1日の平均入院患者数が152人)となっている。なぜ、大丈夫と言えるのか。努力目標のように感じてしまう。
回答	令和3年12月に基本計画を策定した時点の全体事業費は124億円でした。このうち工事費は、約93億円で、この金額は、設計にかかる前であるため、その時点で確認できる他の自治体病院の実例を参考にした数字になります。そのため、設計前の124億円と設計後の156億円を比較することは対象が異なるため適さないと考えます。 このたびの156億円から198億円に増加したことについては、留意点が2点あります。一つ目は、増加額42億円のうち約15億円は、来年の工事契約締結までの物価上昇分として見込んでおり、確定額ではありません。二つ目は、医療機器等整備費については、医療機器は古くなると適時更新していくため、更新時期が重なる新病院整備事業と併せて22億円を計上している点になります。

	<p>入院患者数については、人口減少ということもありますが、新病院整備による病床の快適性の向上で個室をかなり増やしますので、個室率の増加による集患効果を勘案し、急性期病棟は68床として1日60床、地域包括ケア病棟は96床として1日92床の利用を想定しています。</p> <p>また、実績として、昨年度は1日平均124名の患者さんが来院されており、今年度は1日平均131名と徐々に稼働率が上がってきています。</p> <p>また、診療単価についても、どのぐらいの診療単価で今後推移していくかというモデル計算を行っていますが、昨年度の実績において概ね達成しており、今現在整備させていただいている考え方が一定合理的であると捉えて、目標設定している見込みがずれないように一生懸命頑張っているところであります。</p> <p><u>補足説明</u></p> <p><u>入院患者数の推移について、令和元年度から令和4年度までのレセプト分析では、宍粟市在住の方で市外の病院に入院されている患者さんのうち、宍粟総合病院で対応できると思われる方は、1日あたり85名程度になります。その患者さんのうち、20名程度確保できれば、計画数値になるため、十分達成可能な数字であると考えています。</u></p>
--	--

No. 2 【収支計画について】

質問	<p>事業費が高すぎる。今回の収支シミュレーションも市民の多くを納得させるための辻褃合わせだと思ってしまう。病床利用率なども現実的な数字を用いて示してもらわないと納得するのは難しい。</p>
回答	<p>現在の新病院整備計画が決して豪華なものではなく、ある意味最低限の医療機能を果たすために必要な施設整備をしていると考えています。当院の場合は、市内唯一の病院ということもあり、病床規模の割にはCT、MRI、内視鏡の検査室、透析センター等、いろんな機能があります。普通の総合病院でこれだけのフルセットは、大きい病院以外はありません。したがって、これだけ立派な医療機能を備えた病院となると、結果的に割高になってしまう傾向にあります。</p> <p>事業費が高いのは事実ですが、必要なものと捉えており、物価高騰の時節柄、ある意味、全体として受け止めざるを得ないと考えております。</p> <p>また、収支シミュレーションについては、ある程度の動きを持った数字になってしまいますが、行政のプロあるいは財政のプロとして一生懸命に取り組んでいます。決していい加減な収支シミュレーションでないことをご理解いただきたいと思います。</p>

No. 3 【収支計画について】

質問	<p>シミュレーションに関しては、素人なので分からない。ただ、議会で以前124億円の数字が出たときに、「一生懸命頑張らなければならない」「楽観的に見た数字ではない」というように意見されたと思うが、124億円で一生懸命頑張らなければならないのに、200億円になったら一体どれだけ病院は頑張らなければならないのかと思ってしまう。</p>
回答	<p>「頑張らない」というのは、少子高齢化人口減の時代に病院がやっていけるのかということで、124億や190億であっても、同じことです。患者さんがいらっしやらなかったら当然経営的にはうまくいきません。事業費がいくらだからどうではなく、基本姿勢は常に同じだと思っています。</p> <p>また、事業費の中には、適時医療機器等を更新していくための医療機器等整備費といった、病院の建替えと無関係なものが計上されていますので、切り分けて考えていただきたいと思います。</p> <p>最近の事例で、独立行政法人福祉医療機構の発表によると、令和3年度の建築単価が1床当たり3,147万円、164床の病院なら51億6,000万円できるといったものを見させていただきました。それから比較すると、今お示ししている部分は法外に高いと思ってしまう方がたくさんいらっしゃる。なので、独立行政法人福祉医療機構にお尋ねしました。</p>

	<p>ここは、経営サポートセンターという組織があり、令和6年6月28日付で、福祉医療施設の建設費の関係のレポートをネットで公表されています。内容は、病院の建設費の推移として、平米単価は41万1,000円、定員1人当たり建設費は2,387万2,000円となり、前年度から上昇ということでした。</p> <p>この機構に、この内容を確認しますと、この病院調査のサンプル対象は、この機構が融資先として貸付けた病院をデータとして整備しており、調査数も18施設のみです。また、注意書きが詳細に書いてあり、全国の情勢とは異なる場合があることが記載されていました。確認しますと、例年、約20施設くらいのサンプルで規模は150床前後、さらには土地造成費も含まれていました。したがって、世の中に何かそういう類のデータの公表というのが散見されますが、調査統計数字を利用する場合には、様々な前提条件がありますので、その利用に当たっては妥当性を検討しないと、誤った引用結果になるということを御理解いただきたいと思います。</p>
--	--

No. 4 【財源について】

質問	純損益が毎年4億円以上の赤字になるが、病院経営がどうしてできるのか。
回答	<p>平成17年に宍粟市になってからも赤字が続き、令和元年度に21年ぶりに黒字になった次第です。その直前は、貯金が0でしたが、令和元年度の黒字化に際して、貯金が0から7,000万になりました。その後、令和2年から4年にかけて、新型コロナウイルス感染症の重点医療機関になり、国からの交付金もありましたので黒字につながりました。</p> <p><u>補足説明</u> <u>このように、過去から人の問題やいろんな事情の中で赤字になっておりましたが、病院として休業することなく、しっかりと経営をしてきたこともあり、経常損益の赤字が続くことのみで病院が破綻するというようなことには結論付けられないと考えます。</u></p>

◆建物の機能について

No. 1 【駐車場の整備について】

質問	芝生広場について、そもそも需要はあるのか。駐車場台数が160台程度では不足するのではと懸念している。個人的には芝生広場のスペースを活用して、もっと駐車場を拡充する方がいいように思う。また、芝生よりもアスファルトやバラスの方が維持管理費は安くなるのではないか。
回答	<p>駐車場については、新病院の玄関付近に140台程度設けており、現状の駐車場利用から見ると、この台数で対応できると考えています。車椅子駐車場についても、屋根付きのものを8台程度計画しており、十分対応できると考えています。</p> <p>しかし、利用者が増える場合は、芝生広場を駐車場拡張用地として使用する計画は持っています。</p> <p>また、維持管理費については、他利用のしやすさやコスト等を踏まえ、検証した結果、将来に向けて融通の利く芝生広場にしておくことが一番良いと判断し、芝生広場で計画しているところです。</p>

No. 2 【売店等の整備について】

質問	売店やイトインコーナーを整備されるとのことだが、近隣に飲食店がないため、売店、食堂、喫茶店、職員食堂を充実し、福利面もしっかりして、職員も働きやすい職場にしていただければ、定着率も上がるのではないか。
回答	<p>現在、検討中ではありますが、例えばコンビニですと、出店条件が設定されており、1日当たりの昼間の稼働人数が2,000人以上、最低病床数が400床以上ないと出店できないと言われていています。このような中、出店がなかなか実現しないというのが現状です。ただし、病院にはいろんな業者が入っており、売店部門をもった事業者もあります。この売店部門で食事等がある程度充実するような形で参画いただけないか、調査中ですので、職員のみ</p>

	<p>ならず患者さんや来院された方が利用しやすい売店が実現できるよう引き続き努力をしていきたいと思ひます。</p> <p>また、職員食堂については、現状、職員数と喫食数の関係で昼間しか営業していません。受託業者も非常に少ない喫食数ではビジネス的に割が合わないため、非常に厳しいビジネスモデルになっています。新病院においては、現在よりも病床数が減少するため、食堂や喫茶をやっていただける事業者の確保が難しいのが現状です。このような中、売店という形で対応できればと考えているところであります。</p>
--	--

◆その他

No. 1 【事業スケジュールについて】

質問	整備スケジュールが当初計画より1年延びたのはなぜか。これだけ伸びたのは議会が紛糾したのが原因か。
回答	議会として議論される中で、当初提案について理解をいただく方、不安に思われる方、いろいろな議員の方がいらっしゃる中で、市民の多くの方にこの事業費を納得してもらうために、事業費をできるだけ抑制していこうという決断に至り、市と病院で協議した結果、1年近くかかってしまいました。1年遅れたことは大変申し訳ありません。令和10年の春に向けて、しっかりその方向で今後も着実に進めていきたいと思ひます。

No. 2 【その他】

質問	コロナで肉親を亡くした。その時、患者さんがいっぱいだということで運ばれたのは宍粟総合病院でなく、他病院だった。これからは団塊の世代が病院へどんどん行くようになると思う。いざという時、宍粟総合病院ではなく、姫路の病院に通うということはあつてはならないと思う。いつ死期が訪れるか分からないので、早く新病院を建ててほしい。
回答	<p>高度急性期医療は、地域医療の役割上、当院では対応できないため、姫路の病院で対応いただくこととなりますが、最後は生まれ育つた宍粟でちゃんと病院にかかりたいと思われるのはごもっともだと思います。</p> <p>これからの宍粟市を考えたときに、教育、医療という非常に大きな課題、人口が減つてもこの課題に取り組まないと町は生き残れないと思ひます。その中で在宅に繋がる医療を提供するのは宍粟総合病院が担ってきました。198億円は膨大であり、半分は借金です。4分の1は国からの交付金、別の4分の1を市が皆さんの税金を使って負担させていただきます。こういうことも覚悟の上で、今回皆さんにしっかり理解していただき、令和10年3月の開院に向けて病院を建てる方向でやりたいと考えております。</p>

◆説明会当日に頂きましたご意見

<p>今回の計画は予算の都合上、免震構造から耐震構造へ変更されるが、私は、安心安全で暮らせるまちということ考えた場合に幼児教育と医療福祉が1番大事なところと考える。単純に病院は大きければ大きいほどいい、設備もいい方がいいと思ひます。市長以下病院関係者の方々を信頼して説明を受け入れたい。現実を受け止めるのは良いとして、少々の夢とさらには自分たちの労働の尊厳、人としての尊厳をもって進めていってほしい。</p>
<p>病院を建てるということを前提に辻褃合わせのようにお話されているように思ひます。もう少し、みんなと一緒に考える必要があるのではないかと。立ち止まって考える必要があるのではないかと。</p>
<p>金額が高いや安いというのは、専門的な分野だと思ひます。私たちにはわからない。この時点で病院を見直してという意見で計画が頓挫してしまつたら、病院はもうできないと思ひます。こういった議論はもう遅い。一刻も早く病院を建ててほしい。</p>
<p>色々話を聞くが、結局、みんな新病院は必要だ、大切だと言っている。今の施設では雨漏れもするし、駐車場も狭く当てまくっている、看護師さんも夜遅くに遠い駐車場まで停めに言っている、施設的にもかなり老朽化もして、もう無理だと分かっていると思ひます。だったら、建てる方向で</p>

考えようということだが、費用がすごく高いので見直そうと言われる。でも、私は違うと思う。見直して1年遅れて、物価上昇の結果、医療以外のところで質を落としている。どれだけ損害を与えているか考えてもらいたい。結果として1年遅れたが、来年はもっと上がると思う。じっくり考えていたら建たないと思う。するのなら早期に建てるべき。

芝生広場は必要ないという意見もあるが、これは健常者の考えであって、入院されている方にとっては緑とか心の安らぎという面でとても必要なものと考え。事業費のことを考えると仕方ないのかもしれないが、是非、芝生広場を活かしてほしい。

新病院開院後に持続可能かどうか収支シミュレーションをされている。シミュレーションをされている方は素人ではない。議会でもこのシミュレーションについて特別委員会を開かれて、報告書を出されているが、妥当かどうか判断ができないということで結果は出ていない。シミュレーションについては、市や専門家がこの結果なら大丈夫だということで実施されているため、私たちは信用しないといけない。市にとって、教育と医療が一番大切なところであり心臓部分ということで安心安全なまち、是非とも早期実現をよろしくお願ひしたい。地元の自治会としては、大賛成で全面的に協力させてもらう。

私は賛成。今、総合病院は研修医で医師を確保されているとのこと。総合病院があるから北部の診療所も成り立っているのではないかと思う。お金だけではない。金額にとらわれる必要はないと思っているので、よろしくお願ひしたい。

20年前の総合病院は、駐車場で患者同士がけんかしたり、病棟や診察室がどこか分からない状態であった。私もお金のところが心配である。反対しているわけではないが、金額が高いと言われている方はみんな同じと思う。私たちは工事のことは分からない。ただ機械が高いことは分かっている。総合病院は必要。宍粟市で入院しようと思ったら、ほかにあるか。佐用に行くのか。姫路に行くのか。姫路の病院を見て思ったことは、総合病院は狭いということ。配膳車の操作にどれだけ注意を払ってされているか見たことあるか。ほかの病院は廊下がもっと広い。病室だって4人部屋はかなり狭い。外見はタイル張りだが、中は無茶苦茶。同じ建替えるなら、もちろん安いに越したことはないが、広い方がいい。

山崎南中学校区としては、この病院が建つことはチャンスだと思っている。住みやすいまちづくり、いろんな面で便利になると思っている。アメリカがトランプ大統領になったら、もっと上がるかもしれない。物価高騰のリスクもあるため、是非早急に建ててもらいたい。

議員さんの中でも賛成と反対で拮抗している。今は賛成派がかりうじて多数を占めているため、前に進んでいるが、来年4月の選挙で、賛成派と反対派の議員が入れ替わったら新病院は出来なくなると思っている。議会が決定権を持っている。